

ローレン・トレス

12-15-17

三大俳人と俳人達の俳句と人生

タイトル・ページ

こんにちわ。私はローレン・トレスです。どうぞよろしく申し上げます。今日は三大俳人と俳人達の俳句の特徴について話します。

スライド1 (概要=アウトライン)

まずはじめにアウトラインについて話します。江戸時代には、三人の有名な俳人がいました。松尾芭蕉、与謝蕪村、と小林一茶でした。俳人達の俳句は異なる話題やテーマを持っています。

スライド2 (バックグラウンド)

次に研究背景について話します。現代の俳句の前に、和歌がありました。和歌は五七五七七の31字でできていますが、俳句は五七五の17字でできています俳句の中には季語があります。季語とはそれぞれの季節を表す言葉です。各俳句に、必ず季語を必要とします。例えば、桜、月、雪や花火です。また、俳句は自然に多く関係しています。

スライド3 (研究質問)

私の研究質問は：三大俳人の俳句の特徴は何か？どのように三大俳人を区別するか？三大俳人の俳句を形作った出来事は何かの三つです。

スライド4 (芭蕉の人生)

最初の俳人は芭蕉です。芭蕉は1644年に上野で生まれました。芭蕉は談林派の俳人、「よしただ」と出会いました。「よしただ」は1666年に亡くなり、芭蕉は京都に移りました。その後、日本全土を旅して俳句を作りました。1681年芭蕉という名前は「芭

蕉」という名前の木が由来です。芭蕉は旅行中に俳句を書くために日記を保管していました。

スライド5 (芭蕉の俳句)

私達の本には芭蕉の有名な俳句が四つあります。この四つの俳句では、日本のさまざまな場所への旅について歌っています。芭蕉の俳句は場所の違いを通して区別することができます。

スライド6 (蕪村の人生)

次の俳人は蕪村です。蕪村は1716年に大阪で生まれました。中国の俳人であり、服部南郭のもとで学びました。蕪村は絵を作って、お金を稼ぐ画家でもありました。この2つの経験が蕪村の俳句を大きく形作りました。

スライド7 (蕪村の俳句)

私達の本には蕪村の有名な俳句が三つあります。蕪村は、この俳句の場面を絵に描いているようです。場面の違いを通して蕪村の俳句を区別することができます。

スライド8 (一茶の人生)

最後の俳人は一茶です。私達の本は一茶の人生について話していました。小林 一茶は1763年に長野県で生まれました。家を去った後で、一茶は脳卒中を持ち、困難な人生を送っていたため、旅行することができませんでした。結婚して子供を持ちましたが、家族のすべてが一茶より先に死んでしまいました。多くの悲しみを経験しているため、一茶は誰よりも小さい物に対して哀れな気持ちを持っています。

スライド9 (一茶の俳句)

私達の本には一茶の有名な俳句が五つあります。この五つの俳句では、家族について歌い、悲しいテーマを持っています。この悲しいテーマは、一茶の俳句だと区別することができます。

スライド10（結論）

これは私の結論です。芭蕉は旅行についての俳句を書き、蕪村の俳句は絵に描いたような想像をすることができます。一茶は悲しい家族のテーマについて書きます。これらの江戸時代の三大俳人は俳句の内容で区別することができます。三大俳人は、家族、他の俳人や人生の出来事による影響を受け、形作られたと言えます。

スライド11（参考文献）

これは私の参考文献です。

スライド12

ご清聴ありがとうございました。質問がありますか？